

平成22年度事業報告

1 「エコパークいずもざき」の営業状況

(1) 平成22年度の営業状況

平成22年度は、処理量50,700トン、料金収入1,138,000千円を見込んだ。

これに対し決算は、処理量で当初予算に比し15,691トン増(30.9%増)の66,391トン、料金収入は当初予算に比し316,735千円増(27.8%増)の1,454,735千円となった。

この要因としては、平成17年度をピークにして処理量が半分以下まで急減したところに、平成22年度は新規(期間限定)の解体残さの大量搬入があり、結果として計画を上回ることとなったものである。産業廃棄物の最終処分量は景気変動の影響を大きく受けることから、景気の低迷による生産活動の縮小、廃棄物の減量化・リサイクルの進展等により、引き続き最終処分が低迷している状況に大きな変化はない、と考えられる。

収支状況は、事業収入1,454,735千円、営業費用1,559,255千円で、営業利益は△104,520千円であり、リサイクルいちば、地球温暖化防止等の普及啓発事業補助金等の営業外収益34,707千円、営業外費用60,511千円で、経常利益は△130,324千円であり、特別利益170,455千円、特別損失588千円で、税引前当期利益は39,543千円となった。

(事業概要)

- 処理量 66,391 t (7.0 t/台)
- 料金収入 1,454,735千円
(21,912円/t、153,033円/台)
- 搬入車両数 9,506台(40台/日)
- 水害及び大震災関係 搬入なし
- 施設視察者 71社(団体) 延べ417人(前年比41.1%)
(県外:32社(団体)延べ131人、県内:39社(団体)延べ286人)

※ 年間搬入受入日数 238日

①平成22年度の主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種類	処理量	構成比	処理料金	構成比
燃え殻、ばいじん、焼却残さ	5,879	8.9	144,667	9.9
石膏ボード	4,975	7.5	127,681	8.8
有機・無機・上水道汚泥	12,097	18.2	231,556	15.9
下水道汚泥・し尿汚泥	268	0.4	8,160	0.6
解体残さ	21,106	31.8	412,654	28.4
金属くず、ガラス、陶磁器くず	2,724	4.1	49,552	3.4
シュレッダーダスト	839	1.3	25,758	1.8
鉦さい	4,275	6.4	63,495	4.4
その他廃プラ	4,291	6.5	81,616	5.6
粗大不燃ゴミ処理残さ	4,883	7.4	161,495	11.1
非飛散性アスベスト	1,748	2.6	72,063	5.0
その他	3,306	4.9	76,038	5.1
合計	66,391	100.0	1,454,735	100.0

②平成22年度までの主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種類	処理量	構成比	処理料金	構成比
燃え殻、ばいじん、焼却残さ	193,065	16.4	4,311,221	16.6
石膏ボード	145,647	12.3	3,225,883	12.4
有機・無機・上水道汚泥	141,551	12.0	2,901,972	11.2
下水道汚泥・し尿汚泥	89,905	7.6	1,609,440	6.2
解体残さ	129,495	11.0	2,862,207	11.0
金属くず、ガラス、陶磁器くず	57,933	4.9	784,398	3.0
シュレッダーダスト	89,638	7.6	2,472,481	9.5
鉦さい	68,453	5.8	796,134	3.1
その他廃プラ	71,064	6.0	1,228,956	4.7
粗大不燃ゴミ処理残さ	57,015	4.8	1,860,824	7.2
非飛散性アスベスト	12,365	1.0	536,109	2.1
その他	124,480	10.6	3,386,441	13.0
合計	1,180,611	100.0	25,976,066	100.0

(2) 年度別営業状況等

①年度別計画処理量と搬入実績

単位：t、%

年度	計画処理量 (a)	処理実績 (b)	(b) / (a)
20	90,000	68,475	76.1
21	77,600	50,909	65.6
22	50,700	66,391	130.9
累計	1,109,256	1,180,611	106.4

注：累計欄は、平成11年4月開業後からの累計量

注：災害廃棄物を含む搬入全数量

②残存埋立容量の推移

単位：m³

年度	年度当初	年度埋立量	年度末
20	568,077	55,787	512,290
21	512,290	49,420	462,870
22	462,870	62,311	400,559

注：年度埋立量は、中間覆土を含む当該年度の埋立総量

③年度別収入計画と収入実績

単位：千円、%

年度	計画収入額 (a)	収入額実績 (b)	(b) / (a)
20	2,412,000	1,745,456	72.4
21	1,850,000	1,172,393	63.4
22	1,138,000	1,454,735	127.8
累計	25,966,924	25,976,066	100.0

注：累計欄は、平成11年4月開業後からの累計額

(3) その他

① 経営努力

ア 過去に搬入実績があったが現在搬入されていない業者及び県外に流出している廃棄物業者をターゲットとして、顧客獲得を目指した営業活動を積極的に行った。

イ 一般廃棄物について、施設が不足している自治体に対し積極的に営業活動を行った。

ウ 中間処理業者や搬入業者等に対して、エコパークの PR チラシを交付や郵送してエコパークの利用促進に努めた。

② 顧客サービスの実施

信頼される施設運営をめざして、接遇を含め顧客サービスの向上に努めた。

2 環境保全啓発事業

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づいて新潟県知事から指定されている新潟県地球温暖化防止活動推進センターとしての活動のほか、事業団独自の環境啓発活動とを組み合わせ、事業の推進に努めた。

事業の実施に当たっては、行政、企業、地球温暖化防止活動推進員、研究者、NPO、学生ボランティア等と積極的に連携を図り、啓発の成果が効果的に行き渡るよう努めた。

(1) 環境フェアの実施と地域との協力

新潟市においてエコフェスタ 2010 を開催した。また、県内各地で開催された地域の環境フェアにも参加し、広く県民に地球温暖化防止等の啓発を行った。

(2) 環境学習の推進

アジア大気汚染研究センターや大学等と協力し、酸性雨や地球温暖化問題等を素材とする環境学習の指導者育成を実施した。

(3) 地球温暖化防止活動推進員研修事業

新潟県から委嘱されている地球温暖化防止活動推進員に対し、最新の関連情報の提供と啓発技術の向上を図るため、研修を行った。

(4) うちエコ相談事業

家庭における使用電力、燃料などのデータから、排出される二酸化炭素の発生箇所を分析し、具体的な排出削減対策を提案する、うちエコ相談事業を実施した。

(5) 地球温暖化防止活動推進員派遣事業

推進員が地域で行う地球温暖化防止のための技術指導、講演などに対して、情報提供や支援システム構築などを行う事業を実施した。

(6) 地球温暖化防止活動関係団体連携強化事業

地球温暖化防止のために活動するNPO等、関係団体の交流会を開催した。また、推進員の交流に対しても啓発用資材を提供するなどの活動支援を行った。

(7) リサイクルいちば事業

事業活動によって生じた廃棄物のリサイクルや再生を促進するため、インターネットを活用した提供・受け入れ促進システムを運用する事業を行った。

(8) 新潟県カーボンオフセット事業

「新潟県オフセットクレジット（J-VER）制度」の円滑な実施に資するため、制度の運用に関わる検証業務を行った。